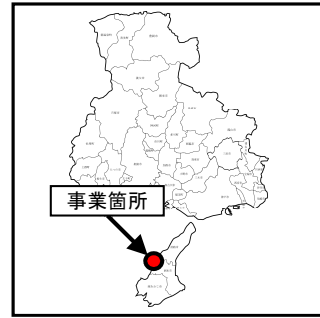
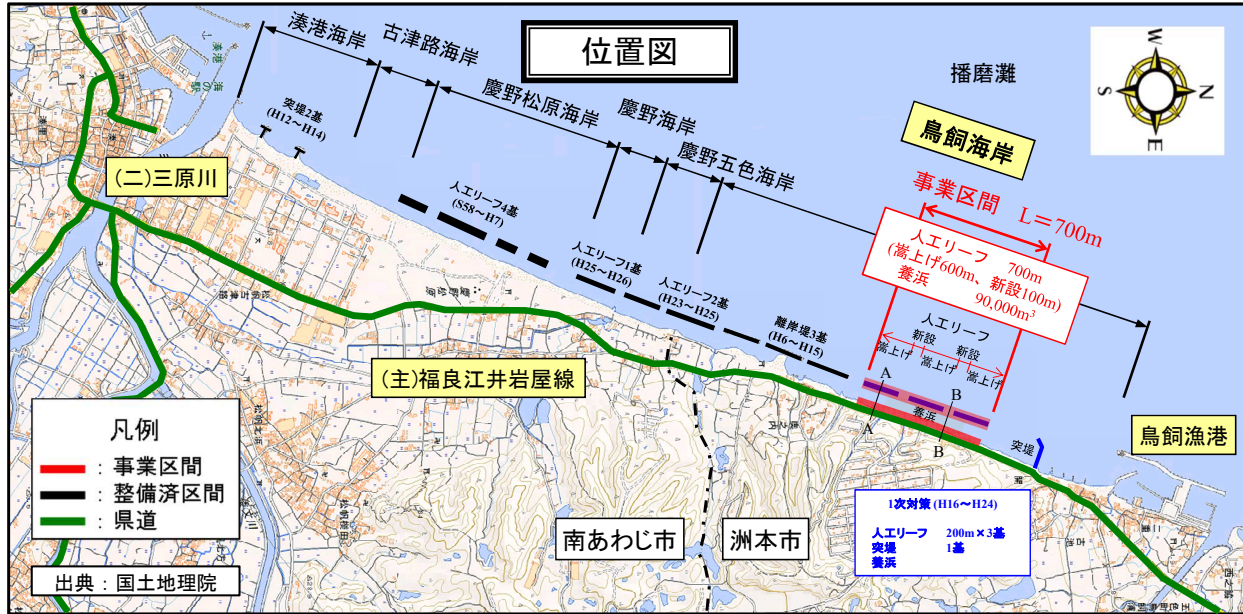


海岸事業 鳥飼海岸侵食対策事業

位置図

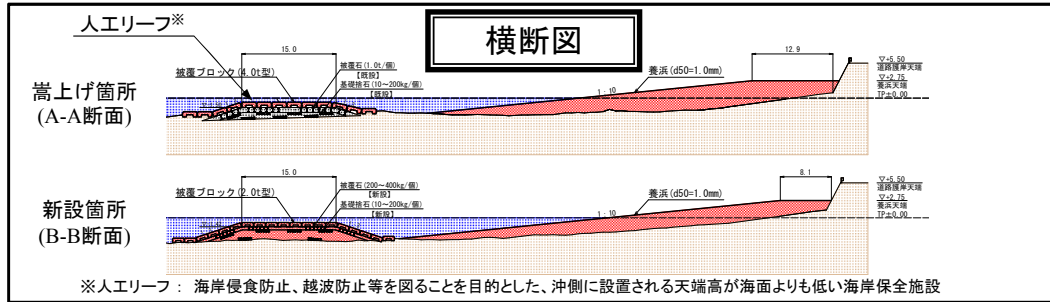


工種	年度				
	H31	H32	H33	H34	H35
設計	■	■	■	■	■
人工リーフ (ブロック製作)	■	■	■	■	■
人工リーフ (養付)	■	■	■	■	■
養浜	■	■	■	■	■

事業概要

事業区間：洲本市五色町鳥飼浦
 総事業費：8.2億円
 内地地補償費：—
 事業期間：H31～H35
 (現場施工は海苔養殖に影響の無い5月～9月で実施)
 延長：700m
 事業概要：人工リーフ 700m
 養浜 90,000m³
 費用便益比B/C：3.0 (流用材も活用)

横断面図



※人工リーフ：海岸侵食防止、越波防止等を図ることを目的とした、沖側に設置される天端高が海面よりも低い海岸保全施設

越波の状況

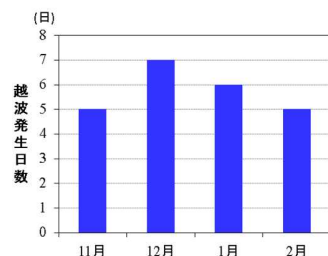
①越波した海水が道路表面上に溜まっている



②越波回避のため反対車線を走行する車両



③冬期は5日に1日の割合で越波が発生



平成29年11月～平成30年2月の4ヶ月 (日照時間のみ)で23日の越波を観測

目的

- ①海岸の侵食防止による国土保全。
- ②侵食による越波被害から背後地の民家や県道等を防護。

必要性
優先性

- ①昭和40年代以降、侵食が大きく進み平成16年から1次対策(人工リーフ3基、養浜、突堤)を実施。その後モニタリングを行ってきたところ、養浜砂の流出が見られるため、人工リーフの改良等による更なる対策が必要である。(1970年～2004年の侵食速度 1.1m/年)
- ②冬期風浪による越波が頻発しており、地元住民からの要望が強く、また(主)福良江井岩屋線の安全確保のため、早急に対策を講じる必要がある。(冬期は5日に1日越波が発生)
- ③養浜により、五色浜と称された景勝の砂浜再生が期待できる。
[想定防護区域 約4ha 想定防護家屋・店舗 8軒 主要地方道 交通量4,894台/12h]

海岸侵食の状況

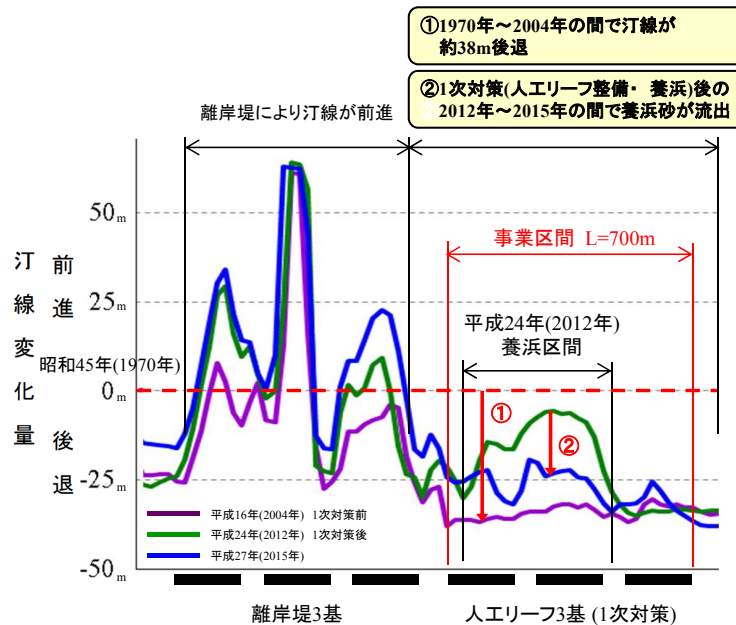
昭和40年(1965年)撮影



平成30年(2018年)撮影



昭和45年(1970年)を基準とした汀線変化量



離岸堤3基 人工リーフ3基 (1次対策)